



公益社団法人 埼玉県看護協会

さいたま Nursing

戸田橋花火大会 (提供: 戸田市役所公式ホームページ) 南部支部

No. **140** 2024.7.23

特集 ともに、つくる、「看護」
令和6年能登半島地震
災害支援ナースの活動紹介

6~7

- ✿ ごあいさつ 2
- ✿ 令和6年度通常総会 3
- ✿ 令和6年度埼玉県看護協会会長表彰 3
- ✿ 常務理事ごあいさつ 4
- ✿ 支部長ごあいさつ 5
- ✿ 資格取得支援/組織強化委員会からのお知らせ 8

会員数 22,686 名 (2024.5.31現在)	
保健師 357名	助産師 878名
看護師 21,030名	准看護師 421名

埼玉県看護協会ホームページ
<https://www.nurse-saitama.jp>



ごあいさつ

公益社団法人埼玉県看護協会
会長 澤登 智子



日頃より会員の皆様には看護協会活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。
近年、夏季には猛暑日が多くなり厳しい暑さが長く続くようになりました。会員の皆様におかれましては、健康に十分ご留意いただきたいと思えます。

さて、私が会長に就任して初めての通常総会が開催されました。決議事項の全てをご承認いただき無事終了できましたことに、改めて会員の皆様へ感謝申し上げます。

令和6年度は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の改定が同時に行われるトリプル改定の年です。看護管理者の皆様におかれましては、昨年度からご準備にご苦労頂いたことと拝察申し上げます。

日本看護協会は都道府県看護協会と連携のもと、看護職の処遇改善の必要性を強く働きかけてきたことから、この度、医療分野で働く全ての看護職を対象にする賃金ベースアップ加算が診療報酬に新設されました。今後は、各医療施設及び訪問看護の診療報酬対応分において処遇改善が実現されますよう期待申し上げます。

本会では会員の皆様よりご協力をいただき、各職能委員会（保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ）、各常任委員会、特別委員会、支部活動を通じて幅広く事業運営にあたっております。埼玉県看護協会は、看護職一人一人が活躍する姿をイメージしつつ、これからの看護の在り方や方向性について看護政策を含めて検討してまいります。

昨今、埼玉県内の看護職不足は、これまで以上に大きな課題になってまいりました。本会はナースセンター事業を埼玉県から委託され、看護職の確保・定着促進に向けて活動しております。具体的には求職者に適した就業支援につながるよう、丁寧な相談ときめ細かな対応に努め、さらに求人施設の獲得のため、医師会や各施設へ働きかけを行っております。また看護を目指す中学・高校生に向けた進路支援にも取り組み、人口減少時代となり生産年齢人口の減少が見込まれる将来においても、より多く子どもたちに看護を目指してもらえるように働きかけを行っております。

現職の看護職に向けては、専門性を高めるための教育支援、医療安全大会や看護研究学会の開催、看護業務改善に関する取り組みを行っております。

さて、災害支援ナースは令和6年度に新制度となりましたが、新体制の育成研修は既に開始しております。現在は派遣調整の体制構築に向け、県庁担当課や日本看護協会と連携して対応しております。改めて会員の皆様には災害支援ナースへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

看護協会の活動は、個々の看護技術を磨くため、経験値を高めるための自己研鑽を支援し、職能・職域を超えて連携に努め、看護職としての連帯感をもって活動を進めております。

社会の変化に合わせ、人々から求められる看護の役割を發揮するために、多くの看護職の皆様には看護協会活動にご参加いただくことを切に願っております。よろしければ皆様のお仲間にもお声がけいただけると幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 埼玉県看護協会 通常総会

- 日 時：令和6年6月15日（土）10:00～15:30
- 場 所：埼玉県看護協会研修センター（西大宮）
- 委任状：16,625通
- 出席会員：225名 ● 出席役員：18名（合計16,868）

令和6年度埼玉県看護協会通常総会は、澤登会長の挨拶に始まり、多くの来賓の方々にご祝辞を賜りました。日本の医療・福祉における将来と看護職の働く環境のために、来賓の方々が見守り、将来に向け今をどう捉えているのかが伝わりました。

総会の議事内容においては、わかりやすい総会資料と事業説明がされ、看護の現場を第一に考えた看護協会活動であることがよくわかりました。第1号議案及び第2号議案について活発な質疑応答、意見がかわされ、その後承認されました。なかでも看護職の先輩方が看護の将来を真剣に思っている姿を伺えることができました。今後も継続して若い世代が看護協会の活動に興味を持ち、参加してもらえよう各施設での活動を強化していき、後継者にスムーズに引き継いでいけたらと思います。全体を通して、看護職の役割と働く環境を考える機会となる総会でした。



特別講演

特別講演は、日本看護協会井本寛子常任理事より「看護の専門性が拓く、これからの社会」というテーマでした。日本の人口減少や高齢人口の質の変化、地域の機能の弱体化などの質的量的課題を踏まえ、これからの看護に期待されることや力を注ぐべきことについて、わかりやすくご講演いただきました。2040年問題に向けて、私たち看護職がいかに1人1人の看護の質を上げていくのか、また、在宅療養に移行していく患者の療養の場を支えるための看護提供体制をどのように整えていくのかについて、改めて考える機会となりました。今後求められる看護の役割を理解し、対応していくことの重要性を知ることができ、とても良い学びの場となりました。（広報委員会）



令和6年度 埼玉県看護協会会長表彰

埼玉県看護協会会員として20年以上在籍し、協会業務の向上・発展に功績のあった22名の方が埼玉県看護協会会長表彰を受けられました。おめでとうございます。

氏名	所属
中村 織恵	東都大学
関田 嘉子	秩父市立病院
鈴木 彦太	埼玉医科大学病院
横田 成子	埼玉医科大学総合医療センター
糸部 文子	東松山市立市民病院
杉村 賢子	TMGあさか医療センター
平山 みち子	さやま総合クリニック
土屋 儀志子	埼玉医科大学国際医療センター
大野 千代子	あさひ病院
長澤 明子	上尾中央看護専門学校
志摩 幸枝	北里大学メディカルセンター
上原 浩子	埼玉県立小児医療センター
安西 由紀江	さいたま市立病院
関口 恵子	彩の国東大宮メディカルセンター
橋野 イケコ	丸山記念総合病院
田中 美穂	さいたま市民医療センター
佐藤 泉	川口工業総合病院

氏名	所属
武長 淳子	中島病院
青木三栄子	羽生総合病院
辻本とし子	春日部市立医療センター
高橋 美香	草加市立病院
細川 桂子	吉川中央総合病院



受表彰者



専務理事 佐藤 啓子

新支部体制での支部活動は、2年目となります。埼玉県薬剤師会と共催のまちの保健室（健康相談）は、今年度新たに県央、南西部、南部、利根支部が加わり、県内6支部で開催されます。地域包括ケア推進のためには、多職種連携が必要です。また、地域の方々に看護職の活動を知っていただく機会にもなります。

看護協会は会員の皆さまの会費で運営しております。7月、8月は入会促進月間です。施設管理者・看護管理者の皆さまにおかれましては、新入職・未入会の皆さまへ入会へのお声がけをお願いいたします。

今後も会員の皆さまのご協力・ご支援をいただきながら協会運営を進めてまいります。



常務理事 各務 初恵

新たな災害支援ナース派遣制度が令和6年4月から始まりました。自然災害・新興感染症まん延時活動する災害支援ナースの養成研修は2年目となり、埼玉県と連携を図り災害支援ナースの派遣調整に取り組みます。今年1月1日に発生した能登半島地震への派遣経験を、今後の災害看護へ活かしてまいります。

地域の特性や各訪問看護ステーションの強みを活かし、また、人材育成・訪問看護の質の向上・安定した経営基盤づくりのため、様々な機関やステーション間との連携を図ってまいります。



常務理事 吉永 智子

2期1年目となります。主に一般研修・新人看護職員研修・看護学生実習指導講習会等を担当しております。いよいよ今年度より生涯学習ガイドラインが策定され、それに沿った研修を計画いたしました。皆様看護職として生涯続けていけるよう支援してまいります。また、認定看護師資格取得・特定行為研修支援事業も担当しておりますが、今年度より30名から50名へと増員され、対象分野・特定行為区分の拡大もいたしました。年度をまたぐ研修においても修了年月日が該当の年度にあればお申し込みできます。

学会もコロナ以前の形式に少しずつではありますが、戻していけるよう検討しております。



常務理事 榎屋 文恵

令和5年10月26日に「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が告示され、ナースセンターには看護職の確保・定着に向け様々な役割が求められています。また、令和6年度からの「デジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システム」の運用により、自身の資格や職歴などの看護職キャリア情報を登録・活用するシステム「NuPS」も11月から運用が開始されます。ナースセンターでは本人同意に基づき、看護職のキャリア情報を用いた相談・支援を行ってまいります。求められる役割を丁寧に行っていくとともに、「NuPS」運用開始にあたり、看護職の皆様がスムーズに登録・活用が行えるよう周知してまいります。



常務理事 高橋 陽子

新たに常務理事に就任いたしました。医療の高度化や働き方改革など、社会の中で看護職の能力の向上が求められており、専門職としてのキャリア継続支援は、重点課題の一つです。看護の役割機能を推進する看護管理者の人材育成、教育支援に取り組むとともに、看護の質の向上に努めてまいります。医療安全大会では、安全な医療提供体制を目指し、安全文化の醸成につながる大会になりますよう取り組みます。また、ティーンズ電話相談事業、助産師出向支援導入事業等に携わり、地域との連携を大切に皆様とともに取り組んでまいりたいと思います。

◎ 令和6年度執行部体制

会 長	澤登 智子	
副 会 長	柿澤由紀子	須田 裕子
専務理事	佐藤 啓子	
常務理事	各務 初恵	吉永 智子
	榎屋 文恵	高橋 陽子 新

職能理事	田邊奈緒子(保)	小澤 千恵(助)
	鈴木 聡子(看Ⅰ)	林 晴美(看Ⅱ)
地区理事	金澤千恵子	吉場 明美 新
	相馬真貴子 新	
准看護師理事	川端 澄枝	
監 事	阿部 大輔	斉藤 靖枝 池田 光子

北部・秩父
支部長

松嶋 正子

〈本庄総合病院〉



この度、北部・秩父支部の支部長を務めさせていただくことになりました。コロナ禍前の活動に戻せるように、今年度は、研修や看護研究発表等は集合でおこないます。そして、会員が一人でも増えるよう支部役員が協力し活動していきたいと思ひます。会員の皆様のご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

川越比企
支部長

山崎 みつ江

〈小川赤十字病院〉



川越比企支部の支部長を拝命し2年目となります。今年度は、コロナ禍前の活動規模に戻すことを目標に支部活動に取り組んでいく所存です。多くの方々に看護や看護協会について関心を持っていただけることを期待して、支部長として事業に取り組んでまいります。今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

南西部
支部長

太田 真由美

〈新座志木中央総合病院〉



引き続き南西部支部支部長を務めさせていただくこととなりました。会員の皆様には、日頃より支部活動にご協力を賜り感謝申し上げます。今年度当支部は、「まちの保健室」とおして地域の方々の健康維持増進に挑戦いたします。そして、会員の皆様にとっても意義のある支部活動であるように努めてまいります。今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願ひ致します。

西部
支部長

小林 比呂子

〈さやま地域ケアクリニック〉



今年度より西部支部長に就任いたしました。精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。Withコロナの社会となり、支部活動も平常に戻りつつあります。コロナ禍で始まったオンラインによる活動だけでなく、対面で交流できる研修会や、まちの保健室事業などに取り組む予定です。

県央
支部長

横山 幸子

〈上尾中央第二病院〉



昨年度より引き続き県央支部の支部長を務めさせていただきます。会員の皆様には日頃より支部活動にご協力を賜り深く感謝申し上げます。今年度は、健康相談や研修会など、支部会員の皆様、そして地域住民の皆様にとって少しでも有意義で楽しい交流を目指し、役員とともに活動してまいります。これからもご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

さいたま
支部長

渡辺 まゆみ

〈さいたま赤十字病院〉



能登半島地震で被災された皆様に心よりのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り致します。昨年度より、さいたま支部長を務めさせていただいております。会員の皆様、地域の皆様に関心を持ってご参加いただけるような企画を検討してまいります。どうぞ引き続きのご支援、ご協力を宜しくお願ひいたします。

南部
支部長

林 幸恵

〈戸田中央総合病院〉



二期目の支部長を務めさせていただきます。南部支部会員の皆様には日頃より支部活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。本年は新たな事業への参加も決まり、役員一同気の引き締まる思いしております。会員の皆様、そして地域の皆様にとって有意義となる活動を目指し、集合をメインとした企画を進めてまいります。よろしくお願ひいたします。

利根
支部長

加藤 加澄

〈JMA東埼玉総合病院〉



支部長を務め、2年目を迎えました。前年度より、少しずつ支部活動も拡大してすすめてまいりました。今年度は数年ぶりの交流会開催や、会員拡大に向けた学校訪問などを計画しております。また、「まちの保健室事業」にも取り組み、地域の皆様が健康で生活できるよう支援をさせていただきながら、楽しく支部活動に取り組んでまいりたいと思っております。

東部
支部長

加藤 好江

〈みさと健和病院〉



日頃より活動にご協力いただきましてありがとうございます。令和6年度東部支部は、感染対策もしつつ、会員交流会や看護研究発表会、リフレッシュできる親睦会を開催していきます。企画を通して会員拡大に繋がれるような魅力ある支部となるよう努めてまいりますので、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。



令和6年 能登半島地震 埼玉県看護協会

埼玉県看護協会 常務理事 各務 初恵



穏やかな新年を迎えていた夕刻、大きな揺れを感じ、テレビをつけると余震や津波への注意警報が報道されていました。令和6年1月1日に発生した地震は、能登半島に甚大な被害をもたらしました。17時に澤登智子会長より「日本看護協会や埼玉県から連絡が来たら、直ぐに対応を」と連絡がきました。緊張の日々が始まります。1日夜には日本看護協会は高橋弘枝会長

を本部長として災害対策本部を立ち上げ、埼玉県看護協会は1月3日災害支援ナース派遣調整準備室を立ち上げました。日本看護協会は1月6日～2月29日の期間に延べ2,982名の災害支援ナースを病院・避難所27カ所に派遣しました。埼玉県看護協会は日本看護協会の要請をうけ、1月11日～2月23日の期間に延べ104名の災害支援ナースを派遣しました。1月11日、能登町松波中学校の避難所に第1陣を送り出しました。ここは津波の被害を受けた方々が多く、8割近くが80歳代以上の高齢者でした。支援のフェーズが生活支援から自立支援へと少しずつ変化するなか、1月30日からは輪島市大屋小学校、2月8日からは日本看護協会が中心となり運営を行う1.5次避難所である、いしかわ総合スポーツセンターへ派遣をおこないました。

志を持ち支援活動をしてくださった災害支援ナースの方々、厳しい状況の中、被災地に送り出してくださいました看護管理者の方々、そしてご協力くださいました施設の皆様に心より感謝申し上げます。



1月11日 災害支援ナース第1陣派遣送り出し 大宮駅にて

能登町立松波中学校 避難所

■ 活動期間：令和6年1月12日～1月30日 ■ 派遣者延べ人数：48名



川口市立医療センター 齋藤 凌二

■ 活動期間：令和6年1月21日～1月24日

■ 主な活動内容

- 避難者の健康管理
- 要健康観察者の検温・内服薬管理
- 避難所の清掃・環境整備
- トイレ移動介助
- COVID-19感染症者対応
- 福祉避難所への移動対応
- 避難者居住スペースの清掃
- 入浴・更衣介助
- 炊き出し配膳手伝い
- 口腔ケアスペース作成
- 口腔ケア指導
- 避難者の要望対応 など

■ 支援を終えて

災害支援ナースとして初めての派遣依頼を受けて、緊張や自分に務まるのだろうかという不安がありましたが、避難者が求めていることや必要としていることに対して少しでも支援したいと考えて参加しました。私が派遣された避難所は、すでに医療ニーズとしては大きな需要はなく、避難者の自立支援や住環境の調整などが必要なフェーズに移行した時期でした。要健康観察者の健康観察や内服管理、口腔ケアスペースの作成などの業務を担いました。避難者に対して、過干渉にならないことを特に意識しながら活動を行いました。実際の被災現場では、医療者であっても、炊き出しの手伝いや環境整備、支援物資の配給や被災者の困りごとの対応等、できることは何でもやらなくてはいけません。多数の継続的な支援により、被災者は避難所という特殊な空間でも落ち着いて過ごすことができているように感じました。今回災害支援に参加して、支援を受ける側が何を求めているか考え、職種に拘らず活動することが重要であると学びました。



災害支援ナースの活動紹介

埼玉県看護協会は、日本看護協会や埼玉県との連携により、大規模自然災害発生時に災害支援ナースを派遣し、看護支援活動を行っています。広報誌139号に引き続き、令和6年能登半島地震の埼玉県看護協会災害支援ナースの活動をご紹介します。



輪島市立大屋小学校 避難所

■ 活動期間：令和6年1月30日～2月8日 ■ 派遣者延べ人数：24名

埼玉県立がんセンター 高橋 学

■ 活動期間：令和6年1月30日～2月2日

■ 主な活動内容

- 避難者の健康管理 ● 要健康観察者の検温 ● 清潔ケア（清拭 足浴 手浴 爪切り）
- 巡回診療（DMAT、日赤救護班）情報共有・介助
- 感染症罹患者の症状確認・生活支援 ● 濃厚接触者の対応 など

■ 支援を終えて

1月30日から2月2日まで、輪島市大屋小学校で災害支援ナースとして活動しました。情報が少ない中、バディ2名で被災地に入り、避難所には100名程度の方が避難生活を余儀なくされていました。高齢者は3割程度でしたがCOVID-19やインフルエンザに感染している方がおり、感染隔離の環境を整備し、感染の拡大防止に努めました。私自身が現在感染症患者を受け入れる病棟で勤務しているため、その実践を現場で役立てることができました。輪島朝市の火災現場から離れた内陸側の避難所でしたが、この地域の地元の多くの方々方が避難所生活を送っていました。断水で入浴ができず、ストーブを活用してお湯を確保し、清潔援助を実施する中で、被災された方々の気持ちに寄り添うことが、災害支援ナースとして最も重要な役割だと感じました。

現在も避難生活を続けている被災地の大変な状況からの一日も早い復興を願っております。



いしかわ総合スポーツセンター 避難所

■ 活動期間：令和6年2月8日～2月23日 ■ 派遣者延べ人数：32名

草加市立病院 山崎 恵

■ 活動期間：令和6年2月20日～2月23日

■ 主な活動内容

- 避難者の健康管理 ● バイタルサインチェック ● 内服の与薬・服薬確認 ● 血糖測定
- インスリン自己注射指導・見守り ● 入浴介助
- 熱傷処置・指導 ● 新規入所者の受け入れ・カルテ作成・病歴聴取
- 清潔ケア（足浴 手浴 爪切り） ● 筋力低下予防（ラジオ体操） など

■ 支援を終えて

埼玉県看護協会よりいしかわ総合スポーツセンターメインアリーナ（1.5次避難所）に災害支援ナース2名で派遣されました。愛知、静岡、岐阜、長野、富山、東京都看護協会の14名で支援活動を行いました。被災者は97名。年齢層は40～90歳代で8割の方が65歳以上で、半数以上の方が自立されていました。看護師は医療行為のある方を対応し、バイタルサイン、インスリン自己注射、熱傷処置、HOTの使用法、与薬、服薬確認などセルフケアが出来るように指導を行いました。病院のようにナースコールがないため、用事がある際はすぐに対応できるように常に施設内の見回りを行いました。今回の支援ではケアを率先するのではなく、次の生活に向けての自立支援を中心に関わりました。初めての災害支援派遣でしたが、これでよかったのか、もっと何かできたのではないかと、支援が終了した今も思い出します。急性期を脱した後も、今だからこそ考えるべきことや、課題もあると感じています。



令和6年度認定看護師資格取得・特定行為研修受講等支援事業案内

■ 認定看護師資格取得・特定行為研修受講支援事業（認定看護師等資格取得支援）

対象課程の認定看護師教育機関等に入学した看護師に、資格取得給付金（20万円）を交付し、資格取得後、県内の医療機関等に従事していただき、県内医療機関等を対象に知識、技術の普及活動（活用事業における講師）に貢献していただくことを目的としての事業。

● 対象課程

A課程	B課程
皮膚・排泄ケア	皮膚・排泄ケア
緩和ケア	緩和ケア
訪問看護	在宅ケア
糖尿病看護	糖尿病看護
透析看護	腎不全看護
摂食・嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護
認知症看護	認知症看護
脳卒中リハビリテーション看護	脳卒中看護
慢性呼吸器疾患看護	呼吸器疾患看護
慢性心不全看護	心不全看護
救急看護	クリティカルケア
がん化学療法	がん薬物療法看護
感染管理	感染管理

● 特定行為区分

全区分及びパッケージ領域

募集定員は50名と昨年より20名増えています。また、年度がまたぐ場合は、修了年月日が該当年度であれば応募できるようになりました。

例①

昨年の令和5年7月1日入学し、令和6年7月31日修了した場合は今年度応募可能です。

例②

今年の令和6年7月1日入学、令和7年7月31日が修了の場合は、今年度は応募できません。次年度応募してください。



埼玉県看護協会 TEL.048-624-3300

<https://www.nurse-saitama.jp/topics/23249>

組織強化委員会からのお知らせ

7月～8月は入会促進月間です

- 委員会の活動事項：看護協会への入会率向上、施設間のネットワークづくり
- 看護協会の活動：看護職の専門性の維持・向上、看護の質向上、働き続けられる環境づくり、看護政策に働きかける活動
- 令和6年度 埼玉県看護協会入会目標
⇒25,000人（新規入会2,000人）以上

※看護管理者の皆さま、一人でも多く看護職に入会いただけるようご協力をお願いします！

研修会 第3回 会員施設代表者・看護管理者交流会

テーマ：看護の明日をつくる
日 時：令和6年11月23日（土・祝）10：00～12：30
場 所：埼玉県看護協会研修センター（西大宮）
講 師：国際医療福祉大学大学院 副大学院長
（前日本看護協会会長） 福井 トシ子氏
対 象：看護部長（副） 施設長（副） 師長（副）

※研修会の中でグループワークがあります。活発な意見交換で看護管理者が元気になる良い機会です。

埼玉県ナースセンター

現在の求職登録者の状況をお伝えします。求職者（看護職）の平均年齢は48歳です。50歳以上の方が約50%、60歳以上の方が約17%を占めており、業務経験はあっても離職期間が長いという特徴があります。勤務時間の工夫とともに、その方にあった業務の調整が採用のポイントです。

令和6年度 広報委員紹介

埼玉県看護協会広報委員会は、広報誌を通して会員の皆様へ情報を発信してまいります。今期もどうぞよろしく願います。

担当常務理事	吉永 智子
委員長	似内 明子
副委員長	巻島 末季
委員	原 美保 増田 康予 川野 奈緒美 村社 真紀 森茂 亮一 澤田 良子
担当事務	大菅 真由美

編集後記

広報委員会

今年もまた暑い夏がやってきます。地球温暖化に歯止めがかからず、日本のみならず、世界各地で異常気象による災害が起きています。持続可能な開発目標（SDGs）では「気候変動に具体的な対策を」という目標を掲げていますが、エアコンなしには生きていけないこの季節、他のことのできるだけの節電を工夫したいです。例えば、照明はこまめに消すとか、冷蔵庫に物を詰めすぎないとか、テレビは主電源を切るとか。何ごとも、ちりも積もれば山となる…の精神と、実際に行動することで、この酷暑をなんとか乗り切りたいです。



この印刷物は環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。



P-B10151